

2013年度第2回例会「被災文化財の応急処置を考える」

日時：2013年10月10日

場所：萩博物館講座室

開場：13：00

開催趣旨

7月末に集中豪雨に見舞われた中国地方。萩市では、萩市立須佐歴史民俗資料館が冠水するなどの被害が生じ、現在、地元の博物館関係者を中心に所蔵資料の応急処置がおこなわれています。ここでは、これまで災害で被災した文化財の修理事例を紹介し、豪雨で被災した文化財の今後の対応について考えます。

プログラム

- 14：00～14：05 挨拶
- 14：05～14：30 東日本大震災における民俗文化財の応急処置
日高真吾（国立民族学博物館）
- 14：30～14：55 東日本大震災で被災した民俗文化財の一時保管場所の運用事例
について
和高智美（文化創造巧芸）
- 14：55～15：05 休憩
- 15：05～15：30 防府市阿弥陀寺で被災した大般若経の修理事例
岡 泰央（岡墨光堂）
- 15：30～16：00 意見交換

－問い合わせ先－

日高真吾（国立民族学博物館）

s-hidaka@idc.minpaku.ac.jp